愛知万博 5/1 sunday
「豊田加茂地域の日」

「あいち・おまつり広場」

開幕から2カ月が経過し、ますます盛り上がりをみせている「愛知万博(愛・地球博)」。各イベント会場では、毎日さまざまな催しが行われています。

愛知県内におよそ300ある伝統文化の象徴「山車」をモチーフにした長久手愛知県館「あいち・おまつり広場」。こちらでは、県内市町村の各地域の祭りや伝統芸能、文化活動、特産物などを日替わりで紹介する「市町村の日」が開催されています。5月1日は「豊田加茂地域の日」。地域参加者の趣向を凝らしたステージなどを通して、豊田加茂地域の魅力を伝えました。

オープニングでは、「三好太鼓」と「陣中太鼓」が迫力の演奏を披露。また三好町を中心に音楽や演劇などで活動している「三井アーツ」の皆さんが、手話を用いた合唱を万博会場に響かせました。

1dayプロデューサーを務め、ライブステージや華麗なトークで盛り上げた清水國明(しみず・くにあき)さん

愛知万博は9月25日まで開催

世代を超えたハーモニー

テーマ
「～矢作川が育む“たからもの”～」
豊田加茂 水と緑の芸術祭

「三井アーツ」の皆さんの合唱

和太鼓の競演

「三好太鼓」迫力のばちさばき

「陣中太鼓」息のあった演奏

～今後の三好町の関連イベント～ ぜひご参加ください

8月19日(金)▶ベリーズのナショナルデー(中米統合7カ国デー)…EXPOドーム
8月22日(月)▶三好町の日…長久手愛知県館「あいち・おまつり広場」

ベリーズが出展「中米共同館」

三好町の一市町村一国フレンドシップ事業のパートナー国「ベリーズ」。グローバルコモンズにある「中米共同館」で、ほかの6カ国と共同で出展を行っています。ここで「ベリーズ」に関する展示を少し紹介します。

カラフルな民俗衣装

映像や展示物などで各国の魅力を紹介

ベリーズの砂は不思議な感触

カリブ海にあいた穴「ブルーフォール」